

流域治水協議会 9)自分事化に向けた取り組み事例紹介

# 9)-2 自分事化に向けた取り組み計画

·令和6年2月8日 筑後川·矢部川流域治水協議会にて自分事 化に向けた取組計画を策定。

令和5年度の取り組み実績を踏まえ幹事会で検討の上策定した。

# 筑後川・矢部川水系流域治水協議会 目標の考え方のまとめ

#### 流域治水の必要性の情報発信

流域治水取り組み・ 見える化

流域治水の役割・効果 ⇒山間部・上流から下流 の取り組みと役割・効果。

流域治水協議会等 情報の発信・議論の 場を持つ

・流域治水取り組みの 情報・課題共有等 ⇒効果の向上

治水対策 効果の見える化

ダム、砂防等イン フラの役割、効果 をわかりやすく。 水害リスクの見える化

・地形、自然条件、 地域の水害の歴史 をまとめる。

水害の実態を伝える

- ・水害の実態
- ・これからの気象変動
- ⇒身を守る必要性を理解し

治水対策の必要性を理解する人が増える。

#### 地域共同の 取り組み推進

・地域でモデルとなる取り組みを推進。水害リスクに関する理解が深まる。

⇒流域に視野が広がり、流域治水 に取り組む人材が増える。

#### 多様な防災教育等の実行

- ・治水の考えや流域治水の考えを知る。
- ・過去の水害から地域の弱点を知る。
- ・地域の河川、自然への理解を深める。
- ・自分の住む地域への理解を深める。
- ⇒水害へ備えの必要性を理解した人が増える。
- ⇒家族で一緒に水害について考える様になる。
- ⇒流域治水の取り組み参加者増加と活性化。

# 方法での・自主防災の活動推進

⇒防災リーダーや防災士等

地域での自主防災の

取り組みによる人材育成

- の人材育成
- →地域防災力を向上させ、 災害による犠牲者(災害関連死含む)を減らす。

#### 町づくりからの安全 な暮らしへの誘導

- ・町づくりについて議論し 災害に強い町づくりを 進めていく。
- ⇒町づくりからの治水対策。 効果の発揮・効果の持続

#### 流域治水を暮らしの文化に

- ・命の安全を一番に。
- ・早めの避難、協力しあう避難 行動をあたりまえに。
- ・暮らしの基盤の回復力。
- ・職場、生活の場の安全を確保。
- ⇒<u>被害を受けても、しなやかに</u> 回復できる強靱な地域へ

#### 様々な機関で連携した 取り組み推進

流域治水に関する取り組みを企業、学術・専門機関、事業者等 に推進。

⇒企業等の治水対策が進み、 地域の安全度向上と地域連携 地域の活性化 につながる。

#### 個人での 取り組み推進

⇒防災知識が向上し 地域の取り組みを知ることで 個人の取り組みも向上。

#### 様々な方法での 防災情報の発信

防災情報を身近でわかりやすく ⇒身近な伝え方ができれば地域の 人々の理解につながる。

# ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知 る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

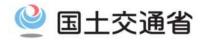
水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域 に視野が広がるきっかけを提供し、行動に 向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組 む主体が増える

# 自分事化に向けた取組計画(目標・実行内容)令和6年2月8日策定



#### 筑後川·矢部川水系流域治水協議会 目標 実行内容

#### 流域治水の必要性の情報発信

#### 流域治水取り組み・ 効果の見える化

・ホームページで取組の発信

流

域

ŧ

視

野を広

げ

(自分のためにも、

h

なのためにも

実施状況や効果情報の発信

#### 治水対策 効果の見える化

- ・治水効果をタイムリーに 発信 (出水情報)
- 社会見学
- ・地域イベント

流域治水協議会等の 情報発信・議論の場

を持つ

- 流域治水協議会
- ・勉強会等の実施

#### 水害リスク の見える化

- · 浸水想定区域 · 土砂災害警
- 戒区域等の見直し公表
- 総合的なハザードマップ
- ・浸水や被災地の現地明示
- ・地域の災害史等を公開

#### 地域共同の 取り組み推進と人づくり

- ・地域でモデルとなる取組み等を推進
- ・水防活動の体制や拠点づくり・水防団等募集等
- 出水時の資材の準備等
- ・田んぼダム、・水路・ため池等の先行排水の推進
- ・水路・ため池等浚渫等維持管理の推進
  - 取り組みの議論の場をもつ

#### 町づくりからの安全な 暮らしへの誘導

- ・町づくりの議論の場
- 浸水情報の現地明示
- ・立地適正化計画の策定 地域防災指針の策定
- 特定都市河川浸水被害対策法の 活用検討

#### 流域治水を暮らしの文化に

- ・命の安全を一番に。 早めの避難、協力しあう避難 行動をあたりまえに
- ・暮らしの基盤の回復力。 職場、生活の場の安全を確保
- ⇒被害を受けても、しなやかに 回復できる強靱な地域へ

#### 様々な機関で連携した 取組み推進

流域治水に関する取り組みを企 業、学術・専門機関、事業者等 に推進。

- 専門機関と協働で防災情報の活用の高度化
- 企業等の施設保全計画、避難等基準等の整備
- 要配慮者施設の防災・避難計画
- ・企業等での雨水対策施設の設置推進

### 企業体等への防災・歴史・環境講習

・河川・地域協力団体で実施する勉強会

多様な防災教育等の実行

・小・中学生等の防災・歴史・環境教育

・地域での防災・歴史教育(年齢層等を意識)

- ・自治体間で連携した勉強会
  - ・インターネット配信の学習会
    - ・防災ゲーム

### ・水害の実態を伝える。

- ・これからの気象変動
- ・広報誌
- ・イベントでの広報
- ・出前講座
- ・写真や記録等の展示会

#### 様々な方法での防災 情報の発信

- ・浸水センサーの活用・水位計・カメラの活用
- ・防災リーダーや防災士等を活用した情報発信
- ・防災情報ツールの活用普及
- 緊急速報、アラートの活用
- ・メディアと連携した情報発信

#### 地域での自主防災の 取り組みによる人材育成

- 住民参加防災訓練の実施
- マイタイムラインの作成
- ・退業的ペシ選業ルートの事前確認
- ・地域の防災ルール (地区防災計画) の作成
- 防災リーダーや防災士等の育成

#### 個人での 取り組み推進

- マイタイムラインの作成
- ・避難所や避難ルートの事前確認
- ・非常持出袋や備蓄の事前準備
- ・避難時の隣近所への声掛け

# 1 知る機会を増やす 水災害のリスクや、流域治 水について知る機会を増や

## 2自分事と捉えることを促す

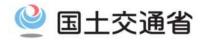
水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域 に視野が広がるきっかけを提供し、行動に 向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 自分事化に向けた取組計画(ロードマップイメージ)令和6年2月8日



筑後川·矢部川水系流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎流域治水の必要性の情報発信  地域 個人 企業・団体	広報誌での啓発 出前講座等を活用した情報発	広報誌での啓発	広報誌での啓発	会議の実施
	◎水害リスク等の見える化と活用  地域   個人   企業・団体	浸水想定区域、土砂災害警 地域の災害歴史や 最新の 広報誌、メディア活用		ハザードマップの更新、配布等	
②自分事と捉えることを促す	◎地域共同の取組推進  地域   個人   企業・団体	市民での土のう の事前作成 水路土砂撤去	ダム・水路等事前排水・水防活動	取組手法の議論検討の場	取組手法の議論検討の場
	◎多様な防災教育等の実行  地域   個人   企業・団体	防災講話、研修会 学校・企業・自治区にむけた 住民参加型の防災訓練		家族向け イベント 気見交換 参加型の防災訓練	
	地域 個人 企業・団体		ラの設置、防災情報ツール活用推進 の周知、市民への情報提供、メデ		
③行動を誘発する	<ul><li>◎町づくりからの安全な暮らしへの 誘導</li><li> 地域 個人 企業・団体  </li></ul>	地域への浸水等の記録の設置等 町づくりの議論の場	等 地域の理解が継続する。 町づくりの議論の場	町づくりの議論の場	
	◎様々な機関での取り組み推進  地域   個人   企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画 タイムラインの作成・周知	の作成促進と避難の実効性確保 防災イベントの 共同開催		
	<ul><li>◎地域での自主防災の取り組みによる人材育成</li><li>◎個人での取り組み推進</li><li>□地域   個人  </li></ul>				